

2010年

5月号



青雲会会報

平成22年5月31日

編集・発行

青雲会(大阪大学法学部同窓会)
会長 森信 静治

事務局

〒560-0043 豊中市待兼山町1-6
大阪大学大学院法学研究科内
TEL&FAX.06-6850-5198
E-mail seiunkai@law.osaka-u.ac.jp
http://www.law.osaka-u.ac.jp/seiunkai

印刷 株式会社 アーツ One to one & Direct Marketing Company
ARTS

OSAKA UNIVERSITY SEIUNKAI



平成22年度

青雲会総会のご案内

日時

平成22年7月10日(土) 午前10:30開会

10:30-12:00 総会 講演

12:00-14:00 懇親パーティー

講演会のテーマ

『あつひと厚仁(新制40期)の信じたもの あつひと追い求めたもの
そして残していったもの』

講師

中田 武仁 氏

※詳細は2ページをご覧ください。

場所

大阪弥生会館

〒530-0012 大阪市北区芝田2丁目4-53
TEL.06-6373-1841 ※駐車場は無料



【電車によるアクセス】

JR大阪駅 中央北口徒歩5分

阪急梅田 茶屋町口徒歩5分

地下鉄御堂筋線梅田駅 5番出口徒歩5分

○平成22年度 青雲会総会のお知らせ



講師 中田 武仁氏 たけひと

【略歴】 昭和12年生
 大阪市立大学経済学部卒
 昭和36年4月 貿易総合商社 入社
 平成5年4月 同上 退社
 平成5年6月 国連ボランティア名誉大使
 就任
 平成20年4月 国連ボランティア終身名誉大使
 就任
 現在に至る

講演
テーマ

『厚仁(新制40期)の信じたもの 追い求めたもの そして残していったもの』

昭和62年4月に大阪大学法学部に入学し、国際法を専攻して平成4年3月に卒業されたご息の中田 厚仁(あつひと)氏(新制40期)は、同年5月、国際連合カンボジア暫定統治機構(UNTAC)が募集したカンボジアの総選挙を支援するボランティアに採用され、同年7月から選挙監視員として赴任し、クメール・ルージュとカンボジア政府との衝突が激しい地域の村々を回り、選挙に関する説明や選挙人登録など、選挙実施に向けた活動を行っていたが、平成5年4月8日、自動車で移動中に何者かによって拘束・射殺されました。

中田 武仁氏は、愛息の殉職後、遺志を活かすべく32年間にわたる商社マン生活に終止符を打ち、自らも国際平和のためのボランティアとして活動を開始し、平成5年6月1日、国連から世界初、唯一人の「国連ボランティア名誉大使」に任命され、延べ50数か国を公式訪問しボランティア活動に参加されてきました。

平成20年4月8日、同大使を勇退し、国連ボランティア終身名誉大使に就任されました。

ご息がどんな思いでボランティア活動に取り組んでいたのか、ご息と2人分のボランティア人生を歩んで来られた心の風景を語って頂きます。

会費

6,000円 (学生3,000円)

ご出席の方は、会費の前納をもって申し込みとさせていただきます。

同封の払い込み用紙をご利用ください。 **払い込み期限 6月25日(金)【必着】**

■平成21年度青雲会行事報告

平成21年度の青雲会行事の概要は下記のとおりです。

1.総会

平成21年7月11日(土)大阪弥生会館にて開催いたしました。詳細については、3ページの総会報告をご参照ください。

2.留学生への奨学金付与

本年度は、張詩慕君(中国瀋陽市出身)に決定いたしました。なお、張君のことについては、9ページの座談会をご覧ください。

3.懸賞論文

今年の入賞者は下記のとおりです。

1席 法4 地神 亮佑君

「派遣労働者に対する業務命令権の行使」

2席 法3 曾碩 健太君

「冤罪が起るのとはなぜか—自白と取調べの可視化について」

佳作 法4 佐々木 貴弘君

「日本における性的マイノリティ保護の可能性—国連人権法からの示唆」

佳作 法4 山野 昌也君

「国連憲章と『後に生じた慣行』の先例的事件について」

4.幹事会

4月23日、6月24日、8月26日、9月25日、12月4日、2月18日に開催しました。9月25日は、特別例会として本年度総会講師 南部真知子さんの“運命の船”コンチェルトに乗船しました。参加人員は毎回30名前後の幹事が出席し、青雲会の運営方針を決定しています。

5.会員名簿の発行

11月28日、前回の発行から4年ぶりに会員名簿を発行しました。今回から特別会員の掲載を始めました。

6.就職活動の支援について

3回生を対象に(社)大阪工業会主催、生協共催、(株)ディスコ運営で12月5日から1月10日の土、日曜日に豊中キャンパスで開催される企業ガイダンスに協力して就職情報を提供しました。

7.卒業祝賀会

今年も準会員であった学生を正会員として迎える青雲会主催の記念パーティーは、平成22年3月23日阪大文系総合研究棟にて開催されました。詳細については、6ページの報告をご参照ください。

以上

■ 平成21年度 総会報告

日時：平成21年7月11日(土)

10:30 総会・講演

12:00 パーティー

会場：大阪 弥生会館

講演：講師 神戸クルーザー社長 南部 真知子氏
(新制23期)

テーマ“運命の船”と私



平成21年度の総会は7月11日(土)大阪弥生会館にて開催いたしました。

当日は快晴に恵まれ約80名の会員の皆様にご出席いただき盛会のうち総会を終えることが出来ました。

会長より「青雲会をもっと活用しましょう」との挨拶があり「他学部との交流」「学生との交流」「就職活動の支援」を進めてゆきたいと発表されました。

講演は神戸クルーザー南部社長より神戸震災当時、交通が途絶えたとき大阪—神戸間の交通に大活躍した“船”との運命的な出会い、また現在の神戸コンチェルトが天候やインフルエンザに振り回されているお話等を楽しくお話されました。

久しぶり(初めて?)の女性講師さんでしたので終始和やかに進みました。

なお出席者が少し減少気味です。同期の方誘いあわせの上ぜひご参加ください。

同期会の行事 御報告ください

来年より、会報に同期会の活動ページを作りたいと思っております。今年1年間、同期会をされたら、ぜひ事務局に原稿をお送りください。御出席できなかった方へのPRにもなります。

ホームページをリニューアルします。

事務局では、もっとホームページを見やすくしようと改正作業中です。7月末までには完成したいと思っております。皆さまのご意見をお待ちしております。

青雲塾へようこそ!

青雲塾担当 松井繁幸(第23期)

青雲塾を担当して2年目を迎えています。参加資格は、青雲会会員の他、会員の紹介のあった人(家族、友人、知人)も大歓迎です。事務局から案内をお送りしますので、是非、ご連絡ください。なお、最近昨年度の開催内容は次のとおりです。



▲ 講話のあとの懇親会も青雲塾の楽しみ
池田先生(右中央)を囲んでハイポーズ

2009年

5月10日(金) 「万葉を歩く《シリーズ(第1回) 佐保路篇》」
(森内 賢一<第18期>)

★都会のオフィスをとび出しての試み

7月31日(金) 「ミニコンサート&マジックショー」

池田 正宏(三木ウインド フィルハーモニー常任指揮者)

★「みなさんこどものようにトランプと格闘されていて、いっしょうけんめいだったのがうれしく感じました」と池田先生の終わりの感想。

11月13日(金) 「映画と裁判員」 坂和 章平 (第19期)

★自ら、手をあげていただいたの2回目の登板で熱く語っていただいた。

2010年

3月5日(金) 「『平家物語』に登場する日吉信仰について」

白井 利文(元大林組)

★「業務の傍ら、三十代中頃より古典文学研究、四十才頃より研究の中心を『平家物語』を中心とする中世文学に絞る」と白井氏は自らのプロフィールで語る。

■ 青雲会会長 ご挨拶

7月10日の「総会」で同期会を!



会長 森信 静治
(新制24期 弁護士)

中国は上海万博で盛り上がっていますが、私の在学中の1970年(昭和45年)大阪万博が開催されました。当時は大学紛争華やかな時代で、学生は万博に浮かれている状況ではありませんでしたが、上海万博を見ていると当時の日本の経済状況に似ているなあと感じます。

私は昭和24年7月生まれ、昨年還暦を迎えました。団塊の世代まっただ中です。

我々の世代の多くの方は、定年あるいは関連会社への転身など、第2の人生スタートで、今までの組織でのつきあいとは異なり、時間的にも余裕ができ、人恋しくなっている時期だと思います。同窓会を気軽に活用ください。

大学時代の友人は、会えばすぐタイムスリップ、学生時代の話、同世代の共通の話で、ストレス発散間違いなしです。是非、今度の総会(7月10日)にご出席いただき、同期、先輩、後輩、恩師に久しぶりに会いませんか。今回、平成5年に国際ボランティア活動中にカンボジアで命を落とされた中田厚仁さん(阪大法40期)のお父様にご講演をお願いすることができました。多数のご参加をお待ちしております。

青雲会は、会員数も1万人近くになり、来年は大阪大学80周年を迎え、同窓会活動の役割はますます多様化、重要になってきています。本年度、青雲会会長になって2年目を迎え、去年の挨拶で触れたマニフェストは道半ばですが、大阪大学、法学部、新体制の阪大法曹会、ロースクール、との連携はもちろん他学部同窓会との交流、ホームページによる情報提供の充実、青雲塾など事務局のご協力を得て、多様な活動をしたいと思いますので、今後とも皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

大阪大学法曹会・・・頑張ってます!

従来、堂島法律事務所の的場先生のご努力により、司法試験合格者の歓迎会等を行ってまいりましたが、司法試験制度の改革に合わせ、さらに具体的に支援を増強する必要に迫られ、2008年10月(新)大阪大学法曹会を再編し、初代会長には弁護士の鎌倉利行氏をお願いいたしました。

阪大出身の裁判官、検事、弁護士、大学の先生で編成され、この3月末で約600人の会員を擁する組織となりました。

昨年にご協力いただきました資金を使い下記の支援策を実施いたしました。

1. 高等司法後援会基金に対し50万円の寄付を行い授業の側面支援
2. 若手弁護士の授業支援
3. 昨年の司法試験合格者81名の祝賀会の実施(大阪弁護士会館)
4. 会員名簿の編集
5. 法曹会幹部と大学の先生との意見交換会の実施
6. 会員に必要な資料の配布

大阪大学の司法試験合格率はまだまだ満足できる状況ではございませんので今後さらに支援を強化したいと思っております。また、今回までの行事内容および名簿の編集は大阪が中心となっておりまだ全国展開になっておりません。今後その点も充実していきたいと思っております。最後に法曹会会員の皆様のご支援と会費のお支払いをお願い申し上げます。

ガンバ副会長!

●会報・留学生奨学生担当



黒田 嘉次郎(18期)

昭和41年入学、45年卒業の黒田です。平成20年3月に35年勤めた大阪府を定年退職し、同年4月から再任用職員として週3日(火、木、金)大阪府パスポートセンターに勤めており、月曜日には青雲会事務局で青木事務局長のお手伝いをしています。

●青雲塾担当



松井 繁幸(23期)

『雑俳』を楽しんでいます。雑俳は江戸の伝統文化の流れをくむ言葉遊びで、あるしぼりのもとに、川柳や洒落などを考える世界です。俳号「上方童子」。現在日本での愛好者は百人足らず。「うまいねどお〜も!川柳道場」
<http://www.owarai.to/dojo/>

●懸賞論文・就職活動担当



西畑 一哉(27期)

新制27期卒(高田敏ゼミ)。1979年日本銀行入行。信用機構局、考査局(金融機関検査部署)、人事局等を経て、預金保険機構に出向中(大阪業務部長)。関ヶ原以西の金融機関の経営状況把握や金融システム安定化策に従事。

●若手活性化・ホームページ担当



西井 秀行(36期)

1988年卒神戸高校出身。神戸で人材採用コンサルティング会社を経営しています。青雲会の会合は年配の方が多くですが、いろんな興味深いお話を聞き勉強になる良いチャンスです。若手の方の参加をお待ちしています。

●女性活性化・留学生奨学生担当



堀木 由紀(46期)

旧姓は近藤で、潮見佳男先生のゼミでした。現在は1児の母、弁護士歴9年です。バタバタと走り続けるような毎日で、ゆったりとした大学時代に戻りたいです。同期生の皆さんお元気ですか。総会で会いましょう。

●総会・就職活動担当



山本 茂伸(22期)

新制22期卒(戸塚ゼミ)。1974年第一勧業銀行入行。尼崎支店長を最後に2003年8月モロゾフ株式会社に向。取締役経理G長を経て、現在常勤監査役。学生時代剣道部に在籍していたことから、現在大阪学生剣道連盟副理事長、大阪府剣道連盟監事。

●就職活動担当



松本 克己(26期)

53年卒業の松本克己です。在学生の就職活動に少しでもお役に立ちたいと思います。阪大を卒業して一番良かったことは素晴らしい先輩・同期・後輩の方が沢山いらっしゃる事です。皆さんよろしくお願いたします。

●総会・総務担当



三木 秀夫(30期)

昭和57年卒。昭和59年弁護士登録。本年4月から大阪弁護士会副会長に就任。今年には二つの副会長職を兼任します。近年、民訴法、会社法など基本的な法律の改正が続き、さらに民法改正も話題になる中、苦勞が絶えません。

●懸賞論文・若手活性化担当



嶋津 裕介(45期)

平成2年入学、同9年卒業です。弁護士12年目に突入です。法律相談部やロースクールによく顔を出していましたが、最近は青年会議所の活動が忙しく不義理しています。40歳を過ぎればまた母校のために頑張ります。

●事務局長



青木 克夫(7期)

「一こま空いたから入れたる」ということで入れていただきました。本当はもっと堂々とはいりたかったのですが。46-7=?何の数字と思いますか、隣の堀木さんとの卒業期の差です。なお写真より実物のほうがずっと若い皆様おっしゃいます。

■ 青雲会名誉会長 ご挨拶



大阪大学大学院法学研究科長
大阪大学法学部長
中尾 敏充(経済学部新制21期)

青雲会の皆様には日頃から大変お世話になっています。法学研究科と高等司法研究科は、今年度からさまざまな事業を協力して展開するために合同の「室」を設けました。その一つに「学生支援室」があります。現在、法学部法学科の学生(約180名)は、その3分の1が法科大学院(ロースクール)に進学、同じく3分の1が民間企業に就職、その他は(国家・地方)公務員や通常の大学院への進学などとなっています。また、法学研究科前期課程の院生(約35名)は、留学生や社会人が多くなり、民間企業などに就職する院生が増えています。さらに、高等司法研究科は、基本的には法曹をめざす院生が大半ですが、なかには公務員に方向転換したり、民間企業に就職する院生も生まれています。新司法試験に合格し司法修習を終えて弁護士として活躍しようと思っても法律事務所就職できないケースが問題化しつつあります。これらの学生・院生の就職支援に少しでも貢献できるようにしようとするのがこの「学生支援室」です。法・経大学院総合研究棟2階にその部屋があり、青雲会の事務局も同じ部屋にあります。同窓会のネットワークに頼りながら、実りあるものにしていきたいと考えています。今後とも、ご協力・ご支援を切にお願い申し上げます。

元気に172人が卒業しました!

3月23日、卒業式があり、法学部より172人がめでたく卒業されました。青雲会が主催している祝賀会も3年目を迎え大いに盛り上がり、男子学生は黒いスーツ姿、女子学生は羽織袴姿が多く平素見かけないような雰囲気になっていました。

この会は、青雲会が主催しますが当日の運営は、法律相談部・法学研究会に所属する学生が行います。先生方も大勢参加され、一緒にゲームをされて学生最後の思い出ができたようです。当日の飲み物はサントリーさんにご寄贈いただきました。皆様もぜひ、平素のお飲み物はサントリーさんをご愛顧ください。

なお、本年度の卒業生の進路は、大学院(高等司法・法科)進学 66人、一般就職 62人、公務員・司法書士等 35人、不明 9人でした。(青雲会把握数字)



▲ 卒業祝賀会記念写真

高等司法研究科の近況と一年の抱負



高等司法研究科長
谷口 勢津夫

高等司法研究科では、2004年4月の開設以来、カリキュラム改革、入試制度改革、成績評価の厳格化など教育の改善に精力的に努める一方、コンタクトティーチャー&チャート制度、ALEC(Advanced Legal Education and Career)による就職支援活動、特待修了生制度の導入、中野貞一郎本学名誉教授の名を冠した最優秀成績修了生に対する中野賞の創設など学生支援にも積極的に取り組んできました。

本年度から、以上のような活動を質量ともに更に充実させるために、「学生第一主義」の精神に則り「We stand by You」をスローガンにして、高等司法研究科の教育にも組織運営にもその精神で取り組んでいきます。「まっちゃん会(待兼山茶話会)」の定期的開催もその取組みの1つです。在学生、教職員だけでなく、学部生やOB/OGも含め高等司法研究科に関係・関心のある方々に広く開かれた交流の「場」です。是非お越しく下さい。

国際公共政策学科のご紹介



国際公共政策学科長
松繁 寿和

国際公共政策学科は、経済のグローバル化、テロリズム、核兵器の拡散、地球温暖化など、国境を越えて取り組まなければならない問題の解決に当たれる人材を育成することを教育の目的としています。したがって、学生は、法学、政治学と経済学を学ぶことで社会科学的思考を修得するとともに、様々な授業や取り組みを通じて人類全体の公益を考え行動するための規範を養うことが求められています。

このような教育目的を達成するために、カリキュラムは、国際社会で起きる問題への知的対応力を身につけること、国際社会で活躍できるレベルまで将来外国語能力を高められるように十分な準備をすること、さらに、リーダーシップを養うことを目指して組まれています。特に、外国語能力は卒業のために必要な要件とされているほど重視されています。また、コミュニケーション能力を重視し、授業におけるプレゼンテーション、ディベート、ネゴシエーション等、表現力を養うような科目も多く用意されています。

東京支部だより

東京支部長 藤瀨 義信(新制13期)



▲ 大石佳能子氏(31期)

東京支部 連絡先

〒160-0004
東京都新宿区四谷1-9 天龍ビル5F
杉政静夫法律事務所内
TEL 03-3355-6575 FAX 03-3355-6576

昨年度の活動としては、11月20日(金)鉄鋼会館にて東京支部総会を開催いたしました。当日は、中尾敏充法学部長にご臨席賜り、大学の近況と2011年創立80周年へ向けての計画につき報告いただきました。森信静治青雲会会長からご挨拶いただきました。

本総会におきましては、経済学部・待兼会との合同講演会として元経済財政政策担当大臣大田弘子氏の「日本経済いま何をなすべきか」を聞きました。

経済学部・東京待兼会のご配慮により、定例化しました合同講演会は、6月20日に株式会社メディアバ社長大石佳能子氏(31期)の「医療崩壊を超えて」を実施しました。

12月12日東京において開催されました「大阪大学卒業生の集い」には法学部卒業生が72名参加し会合を盛り上げました。約300名の参加で大変楽しくすごさせていただきました。

部会活動では、ゴルフ部が活発に活動中で、春と秋に定例コンペを楽しんでおります。ゴルフでも経済学部との交流が定着してきています。

名古屋支部だより

名古屋支部長 平野 修義(新制10期)



名古屋支部 連絡先

〒464-0072
名古屋市千種区振甫町3-26
平野 修義
TEL&FAX 052-711-1008

2009年も経済学部同窓会と協力して他学部も含む名古屋待兼会を運営いたしました。

2,4,6,9月の例会では、「琵琶湖をテクテク歩いて一周」「私の俳句初体験」「私の履歴書」「おくりびとを観て」のテーマで参加者が講師となりお話が約30分あり、その後酒食、懇談を楽しみました。4月の講師は法学部新制12期の西門忠さんでした。

11月の総会に本年は中尾敏充法学部長にご出席いただき、

- ①法人化後の母校の状況
- ②文系学部の研究成果を国内、海外への発信する取り組み
- ③母校創立80周年事業の立ち上げと同窓生の皆様への寄付のお願い等のお話を頂いたのち、総会事項に進み名古屋待兼会の会長が経済学部卒の須賀祥夫さんから法学部新制10期の秋田量正さんに交代することを決定いたしました。

ゴルフ同好会も春、秋の2回実施いたしました。

本年も東海地方の同窓生の皆様の参加をお待ちしております。

囲碁同好会へのお誘い

青雲会の囲碁同好会は、毎月第2土曜日の午後1時から、青雲会交流センター(西天満2-3-6法曹ビル2階)で例会を開いております。会員は昭和29年卒業の菊池さんから、昭和45年卒業の森内さんまで10数名ですが、毎回年齢差を超えた白熱の烏鷲の戦いを展開しております。秋には現役囲碁部員との交流戦、年初にはオール大阪大学囲碁大会と、他流試合も行っております。皆様のご参加をお待ちしております。



お問い合わせは TEL : 06-6384-4747

幹事 山口 勝之(13期)まで メール : ckbto808@sutv.zaq.ne.jp

「白球を追って」青雲会 ゴルフコンペ

「青雲会」ゴルフコンペ 年2回開催(5月・11月)ぜひご参加を(詳細は事務局へ)

二十年・三十年ぶりに懐かしい同窓のメンバーが顔を合わせ、冗談を交わしながら、お互いの健康を喜ぶ会です。27年間よくぞ続いています。

11月に55回記念大会 新しいメンバーの多数ご参加をお願いします。

参加ご希望の方は、
「青雲会」事務局
(06-6850-5198)
までご一報ください。



第10期 青雲会奨学生(法学部留学生) 座談会

平成21年度の青雲会奨学生は、
中国出身の張 詩慕(ちょう しごう)君です。
森信会長からお話を伺います。
(黒田・堀木副会長同席)

森信 中国のどちらの出身ですか。

張 遼寧省の瀋陽です。

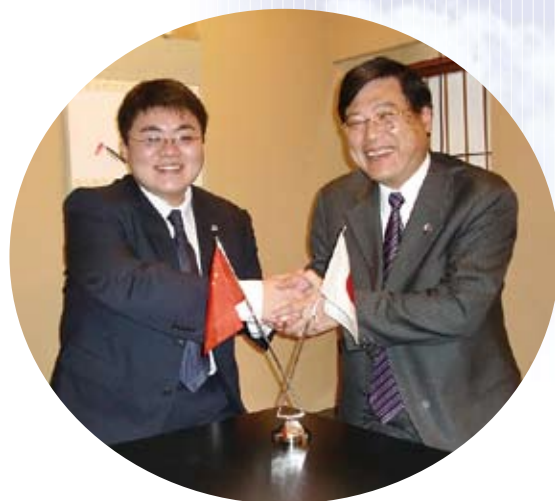
森信 そこでの生活などをお話してください。

張 瀋陽は昔、奉天といわれて、張作霖事件が起きたところであり、私の中学のキャンパスは満州国時代の小学校、隣の建物はソ連時代の建物、80年代、90年代に建てられた建物で変化があり面白いです。高校は皆が寮に入り、週1回家に帰ります。瀋陽は人口720万人の大きい町で、中心部に住んでいる人が多く、学生や市民は電車が無いため、バスやタクシー、自転車が移動手段となっています。夜午後10時以降は町の中は人も車もいません。また町には居酒屋がありませんので、日本との文化の違いを感じます。

普通の市民は市場で買い物をして、家庭で料理を作ります。スーパーはあまりありません。

森信 どういうことで、日本の大阪大学に留学されるようになったのですか。

張 私の高校は日本への留学を希望する者が多くいて、それに向けた教育も行届いており、まず京都を拠点にして留学生試験を受け、北海道、東北地方、四国地方の各大学を受験したのです。札幌は瀋陽と同じ緯度の都市で、魅力のあるところでした。私の小さい頃からの将来の夢は、弁護士や裁判官になりたいと考えていまして、国際関係の法律である国際法を勉強して外交官を目指すため法学部を受験しました。



森信 大学では、どのゼミに入って、何を専門に研究されていますか。将来はどのような仕事に就こうと考えておられますか。

張 ゼミはローマ法の林先生のゼミで、3名という少ないゼミ生なのでローマの歴史や文化も含めて勉強しています。その中でいろんな話をしており、先生の考え方を尊敬しています。先生から外交官・国連職員を目指し国際法を勉強するなら、国際公共政策研究科で勉強することが良いとのアドバイスを頂いており、是非大学院に進学したいと考えています。

森信 今はどのような生活をされていますか。

張 今豊中市に住んでいます。近くのコンビニでアルバイトをしています。

森信 遼寧省の伝統的な料理は何ですか。

張 東北地方は寒く、元々遊牧民族でしたので、野菜とお肉の煮物料理が多いのです。今は全国各地の料理があります。

森信 魚料理はあるのですか。

張 魚は大連から運ばれます。

森信 お忙しいところに来て頂いて有難うございました。青雲会としては、今後とも勉強されてご活躍されることを願っています。

財界実務家講義も行っています



法学部では現在、実務家の講義を2シリーズ行っております。
1つは、法律実務家による「ローヤリング講座」
2つ目は、国際公共政策研究科との合同企画による「アジアにおける事業戦略とリーダーシップ講義」です。

リーダーシップ講義では、財界の有力者が直接色々な講義をされ、学生間で好評を得ております。昨年は西川善文氏(三井住友銀行顧問) 津田和明氏(日本芸術文化振興会理事長) 小林栄三氏(伊藤忠商事社長) 横山進一氏(住友生命会長) など13名の方に講義していただきました。

◀ 講師と学生との懇親会

活躍する卒業生 I



「社会のために働く」

神戸市議員
平木 博美（新制27期）

“Pay it forward!” 「あなたが次に困った人に出会った時に、その人にあなたが手を差し伸べてあげてくれればそれが私へのお礼になるのよ。その気持ちを次へつないで！」 夫の赴任で暮らしたアメリカで、人に助けてもらった時に、その人に対してお礼を返したいと言うと、誰もが皆、同じように同じ言葉で、「その気持ちを次へつないで！」と言ってくれました。直接的にお礼を返すのではなく、お世話になったことへの感謝の気持ちを別の人に、つまり社会にお返しをすることが、手を差し伸べてくれた人への最大のお礼になるということです。私達家族はアメリカで、一つ間違えば命を落としていたかもしれないような交通事故に遭いましたが、その時に多くの人達の善意に支えられた経験をし、「社会に生かされている」という感謝の念を持って生活できるようになったことは、我が家のかけがえのない財産になりました。人は誰もが「社会に生かされ」、そして「社会のために働く」ことを皆が教えてくれたのです。

私たちは常に周囲の方々に支えられて生活をしています。私は、事故後「今、自分が社会のために何ができるか」を考えながら、ボランティア活動などに取り組んできました。アメリカでは、日本人保護者の会や外国人保護者の会会長、麻薬中毒撲滅委員会理事を務め、市教育委員会から表彰を受けました。帰国してからもPTAなどの地域活動や、小学校英語活動立ち上げなどに積極的に関わってきました。

私は、阪大卒業後ソニーに就職し、海外営業担当者として「女性初の単身海外出張」を含め充実したサラリーマン生活を送りました。結婚後も国内外を飛び回っていましたが、その時代ソニーにはまだ育児休暇も復職制度も整備されていなかったので、出産に伴い退職して専業主婦になりました。会社の従業員は代わりがきくけれど、「母親」はその子どもにとって唯一の

存在であり、幼い頃にはなるべく親子一緒に過ごして育てたい、という思いを強く持っていたからです。

ところが、子育てのために専業主婦でいたおかげで夫の海外赴任に同行し、家族でのアメリカ駐在生活を経験することができました。アメリカで出会ったボランティア精神が、その後の私の人生を大きく変えることになったのです。アメリカで家族が生活する機会がなければ、私は今でも“Pay it forward!”の言葉の持つ深い意味を理解していなかったのではないかという気がしています。

神戸でも通訳として、言葉の壁に悩む在住外国人の生活支援や観光案内などのボランティア活動を続けています。ボランティア活動が縁で新しい世界との出会いがあり、今は神戸市議員として仕事をしています。議員の仕事は、自分が関わり続けてきたボランティア活動の集大成とも言える「社会のために働く」仕事だと私自身が理解し、それを家族が応援してくれたことで50歳での新しい一歩を踏み出すことができたのだと思います。

キャリアというと、社会的に報酬を得る仕事をさすことが多いですが、「専業主婦」も立派なキャリアの一つだと思います。育児書に書いてある通りにはならない子育てに日々向き合いながら、私は母親として、人間として多くのことを学び、子ども達を通して社会での活動を続けてきました。「ボランティア」も立派なキャリアです。私は、我が家の子ども達の成長に合わせて、専業主婦から徐々に活動範囲を広げてきましたが、今では子ども達も成人しました。常に真剣に「今、自分が社会のために何ができるか」を考えて活動し積み重ねてきたキャリアは私の財産です。人は「社会のために働く」のだということに私に教えてくれた多くの人達に感謝しつつ、これからも「生活者の視点」を大切に、社会のために働き続けていきたいと思っています。

活躍する卒業生 II



「ブログとの出会い」

弁護士

山口 利昭（新制31期）

大阪で弁護士をしております山口利昭です。ちょうど弁護士生活も20年となりました。大学時代のゼミは大野教授（刑法）と高田敏教授（行政法）でした。「阪大法学部出身」と人前で自己紹介するのが恥ずかしいほど勉強とは縁遠く、むしろ「阪大ボート部出身」と言ってもウソではないほど、淀川の艇庫（合宿所）で毎日を過ごしておりました。

私の場合、「弁護士」と申しまして、ほとんど法廷に立つことはございません。監査法人さんと一緒に会社の会計回りの整備を支援したり、企業の不正事件が発覚したときに、その調査を行うような仕事がほとんどです。いわゆる「コンプライアンス関連業務」です。代表取締役の不正を止めるために監査役の代理人を務めたり、内部告発者の代理人を務めることもあります。「不正ファイナンス」を調査するうちに、反社会的勢力の人たちや元大物官僚の方々に遭遇し、とてもコワイ思いもしました。ほとんどマニュアルのない世界ですから、仕事で失敗して大恥をかくこともあります。企業コンプライアンス関連の業務が大好きなので、毎日楽しく仕事をしています。

そのような企業法務に関する実体験などをと、ちょうど5年前からブログを開設しました。ブログというのはインターネット上でのコミュニケーションツールです。最初は興味半分で始めましたが、思いのほかたくさんの方にアクセスいただき、気がつけば2007年12月にはアルファブロガー（社会に大きな影響力を持つブログを管理している人）に選出され、2009年12月には「法務系ブロガー」として日本経済新聞「プロフィール」、朝日新聞「ひと」で紹介していただきました。大阪弁護士協同組合のご推薦を受けて本も出版させていただきました。現在は一日平均5,000人の方々に閲覧していただいております。面白い記事を書いたときは1万アクセスを超える日もあります。2010年3月、ちょうどブログ開設5周年の記念すべき日には、「BLOGOS」という著名

ブログを集めたサイトにおきまして、「日本で一番読まれているブログ」として、あのホリエモンのブログを抜いてランキング1位に輝きました。

私が企業コンプライアンスの世界に関心を持つに至ったのは、弁護士になって3年目くらいに、大手のマンションデベロッパー会社の顧問弁護士に就任したのがきっかけでした。就任当時は「社員全員でハワイ旅行」など、それはリッチな会社でした。しかしマンション開発にしても、ゴルフ場開発にしても「？」と思う業務ばかりでした。顧問といってもそういったグレーゾーンの仕事に適法性のお墨付きを与えるようなことが多く、「このままでは私も捕まってしまうのではないかと不安になるときもありました。あつという間にバブルが崩壊し、住専問題で明け暮れる毎日となりました。私の目の前で社長や社長室長、総務部長が府警本部に逮捕されたとき、「会社って、いったい何だろう？」と、むなしい気持ちになりました。平成15年にこの会社は倒産し、私の大きな収入源も失いました。

それ以来、会社は持続的な成長を遂げてこそ社会の公器となる、無理な事業活動はかならずどこかで終局を迎える、という信念のもと、コンプライアンス、つまり「人」の勉強を始めるようになりました。不正を犯した企業に向向いても、私は人を責めることは二次で、組織としての「ほころび」がどこにあったのかを探すようにしています。お題目のように理想論を掲げるのではなく、不正に走らざるをえなかった職場環境を冷徹に見据えます。マスコミで悪者扱いされている社長さんも、実は不正を隠していたのではなく、公表しなければならぬ、と決心するに至るだけの情報が届いていなかったりします。

このような私の考え方が、ブログにもいっぱい詰まっておりますので、お時間がありましたら一度覗いていただければ幸いです。

ーシリーズー

◆キャンパス案内 (Vol.1)

最近の豊中キャンパス周辺はおどろく程変わりました。会報委員会としては卒業生の皆様にシリーズで新しいキャンパス風景をご紹介したいと企画しました。第一回目は、通学でなつかしい阪大坂をご紹介致します。



総合学術博物館

昔の附属病院石橋分院・医療技術短期大学を経て今は総合学術博物館となりました。(テラスでコーヒーも飲めます。)



阪大坂 石畳

石橋駅から阪大坂への入口です。足元は綺麗な石畳に整備されています。往年のコンクリート塀の阪大坂の姿からは想像できません。(毎日の通学を想い出して下さい。)



I号館 共通教育本館

唯一残っている皆様ご存知の建物です。来年、大阪大学会館として改装されます。正面写真は雑誌に出させて頂きました。(見るなら今年中です!)

平成21年度決算報告と平成22年度予算 概要

(単位:千円)

収入の部			支出の部		
項目	平成21年度 決算	平成22年度 予算	項目	平成21年度 決算	平成22年度 予算
会費収入	6,809	6,440	総会費	444	540
懇親会収入	444	540	会報費	1,921	2,050
その他収入	461	360	留学生奨学金	600	600
			ロイヤリング	300	300
			司法基金援助	300	300
			ソフト維持費	305	305
			懸賞論文	241	250
			支部助成金	370	370
			一般助成金	120	140
			人件費	1038	1000
収入計	7,714	7,340	その他経費	1089	1420
			支出計	6,728	7,275
収支差額				986	65
前期繰越金	6,464	7,450			
次期繰越金	7,450	7,515			

※本案は総会でご審議いただきます。

「えがかれた適塾」

大阪大学の基礎を作られた緒方洪庵先生誕生200年を記念して下記のとおりイベントが開催されております。お時間がある方ぜひご覧になってください。

テーマ: 「えがかれた適塾」

日時: 2010年4月27日(火)~6月26日(土)

場所: 大阪大学総合学術博物館 (石橋)

青雲会事務局からのお知らせとお願い

- 宛名印刷をご利用ください。パソコンのシステム近代化に伴い、宛名印刷が出来るようになりました。皆様の同窓会開催案内等にご利用ください。(費用:無料)
- 事務局オープン時間 事務局は、大阪大学豊中キャンパス(石橋)、大学院法学研究科棟2階にあります。月、水、金曜、9:00~14:00に在室しておりますので、御連絡をお待ちしております。 青雲会事務局 青木 克夫(新制7期) 黒田嘉次郎(新制18期)

TEL.06-6850-5198